

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

| | |
|-------------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 第3回吉川市介護福祉推進協議会 |
| 開 催 日 時 | 令和5年9月27日(水) 午後7時00分から午後7時30分まで |
| 開 催 場 所 | 吉川市役所301・302会議室 |
| 出席委員(者)氏名 | 保科寧子委員、戸張英男委員、馬場富美子委員、玉川洋子委員、 岩崎武司委員、秦英世委員、柳澤一之委員、峯健二委員、雨宮文範委員、 岡田良訓委員 |
| 欠席委員(者)氏名 | 相羽直人委員、長棟美幸委員、豊田洋一委員 |
| 担当課職員職氏名 | 健康長寿部部長 小林以津己 介護給付係長 関根奈津枝 長寿支援課長 山口剛介 高齢福祉係主任 野口英里子 課長補佐兼高齢福祉係長 石塚晶則 課長補佐兼介護認定係 飯田智子 |
| 会議次第と会議の公開又は非公開の別 | 1 開会 2 議事 (1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討 (2) 吉川市高齢福祉サービスの見直しについて 3 その他 4 閉会 公開 |
| 非公開の理由 (会議を非公開にした場合) | |
| 傍聴者の数 | 0名 |
| 会議資料の名称 | ・令和5年度第3回吉川市介護福祉推進協議会 次第 (資料1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討 (資料2) 吉川市高齢福祉サービスの見直しについて |
| 会議録の作成方法 | <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 |
| 会議録確認指定者 | 戸張英男委員、馬場富美子委員 |
| その他の必要事項 | なし |

| 審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等) | |
|---------------------------|--|
| 事務局 | 1 開会 只今から、令和5年度第3回吉川市介護福祉推進協議会を開催する。 開会にあたり、保科会長よりご挨拶をお願いします。 |
| 保科会長 | (あいさつ) |
| 事務局 | (本日の会議資料の確認) 議事について、進行は保科会長をお願いします。 |
| 保科会長 | 出席委員は、13名中10名で過半数に達しており、会議が成立することを報告する。 議事録署名委員を戸張委員、馬場委員をお願いします。 吉川市市民参画条例により、本会議は公開となる。 (傍聴希望者の確認、傍聴希望者なし) |
| 保科会長 | 2 議事 それでは議事に入る。 (1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討について事務局から説明を。 |
| 事務局 | (資料1「第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討について」説明。) |
| 峯委員 | 前回計画策定時の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査対象者数は14,700人程度であったが、今回の調査は3,000人である。この数の違いについて理由があれば伺いたい。 |
| 事務局 | これまで当市は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について全数調査とし、対象者全員に調査票を送付し回答をいただいていた。この方法だと調査票の回収や分析に膨大な時間を要するため、統計学上、支障のない範囲として3,000人を対象にしたものである。また、有効回答数および回答率についても、国で示されている基準を満たしており、問題ないと考えている。 |
| 峯委員 | 地域共生社会実現に向けた重点テーマの取組について、前回計画の取組内容と変わっているが、関連性はあるのか伺いたい。 |
| 事務局 | 地域共生社会実現に向けた重点テーマの取組については、イラストで示されているように、3つのテーマが絡み合い、さまざまな分野の事業がつながる取組を展開してきた。令和3年度から令和5年度を期間とする第8期計画では、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出などが思うようにできないこともあったが、その中で一般介護予防事業においては、演劇の発声要素に注目し、口腔機能の向上につながる内容を取り入れた。また、市オリジナルの脳トレ冊子「脳活ドリル」を発行し、家での時間が増える中で、認知機能の維持・向上に役立てていただいた。加えて多世代で楽しめる一つのツールとしても活用された。そういったことを踏まえ、第8期計画中の取組をまとめたものを記載しているものである。 |
| 岩崎委員 | ヤングケアラーの問題について。福祉部局の視点だけでなく教育・医療関係との連携といった内容をもう少し充実してはどうか。 |
| 小林部長 | 本計画は高齢者福祉事業に関する事項であり、ケアを受ける高齢者の視点からの見解とヤングケアラー自体をどのように支援していくかという課題があると考えている。後者については、当課で策定する計画だけでなく、他課で推進している課題もあり、他 |

| | |
|---|---|
| 岩崎委員 | <p>課で計画している、盛り込もうとしている事項と整合性を図りながら検討をしたいと考える。</p> <p>介護保険料について。当市は県内でも保険料が低いと認識している。第8期は新型コロナウイルス感染症の関係で、特に通所サービス関係に利用控えがあったと思われる。それに伴い給付費も減り、特別会計の剰余金が増えていると考えるが状況を伺いたい。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおり、当市の介護保険料は県内でも低いところに位置している。また、全国的にみても埼玉県自体、介護保険料が低いところに位置している。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用控えの傾向はあったが、その都度、国から臨時的な取扱いについて通知され、特例措置が講じられてきたことで給付費自体に大きな伸びは見られないまでも、減っている状況には至っていない。また剰余金については、当市の介護保険料の残額は現時点で約10億円となっており、それを基金として積みせていただいている。保険料については、次回以降の本協議会で触れさせていただくが、給付の推移と基金投入のバランスを調整しながら検討を行っていく。</p> <p>(その他、意見なし。)</p> |
| 保科会長 | <p>(2) 吉川市高齢福祉サービスの見直しについてについて事務局から説明を。</p> |
| 事務局 | <p>(資料2「吉川市高齢福祉サービスの見直しについて」を説明。)</p> <p>(意見なし。)</p> |
| 保科会長 | <p>本日の議事については、以上で終了とする。</p> |
| 事務局 | <p>3 その他 今後のスケジュールについて説明</p> <p>4 閉会</p> |
| <p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和5年10月20日</p> <p>署名委員 自署 署名委員 自署</p> | |